



平成 29 年 10 月 27 日

各 位

会社名 株式会社 小林 洋 行
代表者名 代表取締役社長 細 金 成 光
(コード番号 8742 東証第一部)
問合せ先 取締役業務部長 渡 辺 宏
(TEL 03-3664-3511)

平成 30 年 3 月期第 2 四半期 連結業績速報値に関するお知らせ

平成 30 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績につきましては、11 月 10 日に正式発表の予定ですが、現在までの集計結果に基づき概数がまとまりましたので、下記のとおり、速報値としてお知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の速報値 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益
平成 30 年 3 月期第 2 四半期 (速報値)	1,629	△200	△109	△95
平成 29 年 3 月期第 2 四半期 (実績)	1,791	△57	△8	△31
増減率 (%)	△9.1	—	—	—
(ご参考) 前期 (平成 29 年 3 月期) 実績	3,227	△210	△353	△128

2. 連結業績の概要

当第 2 四半期連結累計期間における当社グループの主要な事業の営業収益の内訳は、投資・金融サービス業では受取手数料が 567 百万円 (前期比 12.4%減)、自己売買損 67 百万円 (前期は売買損 11 百万円) となりました。また、生活・環境事業は 419 百万円 (前期比 1.1%減)、スポーツ施設提供業は 232 百万円 (前期比 4.4%減) となり、不動産業は 405 百万円 (前期比 3.0%減) となっております。

これらの結果、当第 2 四半期連結累計期間の業績は、営業収益 1,629 百万円 (前期比 9.1%減)、営業損失 200 百万円 (前期は営業損失 57 百万円)、経常損失 109 百万円 (前期は経常損失 8 百万円) となる見込みであります。また、負ののれん発生益 16 百万円などによる特別利益 23 百万円を計上しましたが、映像コンテンツ配信事業の廃止に伴う固定資産売却損 48 百万円及び金融商品取引システム移行に伴う作業費用 29 百万円などの特別損失 80 百万円を計上したため、親会社株主に帰属する四半期純損失は 95 百万円 (前期は親会社株主に帰属する四半期純損失 31 百万円) となる見込みであります。

(注) 当社グループの主たる事業である投資・金融サービス業は、商品市場、株式市況、為替相場等の変動により大きな影響を受ける傾向があり、業績予想を行うことが困難であるため開示しておりません。また、上記に記載した速報値は、現時点までの集計結果に基づいて作成したものであり、実際の業績は、速報値と異なる場合があります。

以 上